

【表2】 各市町の支援の概要(※令和5年2月1日現在で申請受付中のもののみ掲載しています)

地区	市町	対象資材	対象期間	申請期間	対象者	補助内容	JAのお問い合わせ先
伊豆太陽	東伊豆町	農業用施設の整備費用、機械等の購入費用	令和4年5月1日～令和5年2月28日	令和4年9月5日～令和5年3月31日	東伊豆町の農地で耕作される方	1経営体1回まで30万円を限度に対象となる経費の1/2(交付金上限額30万円)	東伊豆 営農経済センター 0557-95-3614
	河津町	肥料、飼料、農薬、保温資材、包装資材、石油類、その他生産資材	令和4年1月1日～令和4年12月31日	令和5年1月20日～令和5年2月20日	河津町在住の当JA正組合員の方で、令和3年に農林産物の販売実績がある方	資材等の値上げ金額に対して助成(補助率30%～最大70%)	
三島函南	三島市	肥料・飼料	令和4年6月1日～令和5年1月31日	令和5年2月1日～令和5年2月15日	三島市在住の当JA正組合員の方	令和4年6月1日～令和5年1月31日に購入した肥料価格と令和4年5月31日時点の価格の差額分を補助(交付金上限額20万円)	三島函南 営農経済センター 055-971-8208
伊豆の国	伊豆市	肥料・燃油飼料など	令和4年6月1日～令和5年1月31日	令和5年2月1日～令和5年2月10日	伊豆市在住の当JA正組合員の方	価格上昇分を補助(交付金上限額20万円)	修善寺 営農経済センター 0558-72-4461 土肥 営農経済センター 0558-98-0316
あいら伊豆	熱海市	—	—	令和4年12月16日～令和5年2月28日	・熱海市内で事業を営む個人事業者、事業を営む法人 ・熱海市内に所在地を置き事業収入を得て活動する団体	法人事業者 4万円 個人事業主 2万円	あいら伊豆 営農経済センター 地区営農販売課 0557-45-6585
なんすん	沼津市	肥料	令和4年6月1日～令和5年1月31日	令和5年2月1日～令和5年2月28日(予定)	・沼津市在住の当JA正組合員の方 ・作付面積が10アール以上の方	値上がり部分の全額に対し補助を行う(1経営体あたり20万円。ただし、値上がり部分が20万円を超える場合は、その超える部分に対して1/2の付け増し補助を行う(最大200万円)) (交付金上限額220万円)	なんすん 営農経済センター 055-931-3132 西浦みかん 営農経済センター 055-942-2835 あしたか山麓 営農経済センター 055-967-8217
	裾野市	肥料	令和4年6月1日～令和5年1月31日	令和5年2月1日～令和5年2月17日	・令和3年度に農業申告している裾野市内在住の方、および農業法人 ・令和4年に新規就農し農業収入のある裾野市在住の方	令和4年6月1日から令和5年1月31日の間に購入した肥料価格の1/3 (交付金上限額20万円)	すその 営農経済センター 055-997-1249
	長泉町	肥料	令和4年6月1日～令和5年1月31日	令和5年2月1日～令和5年2月17日	・長泉町在住の個人または農業法人 ・長泉町農地台帳に登録されている方 ・令和3年に農業収入を確定申告もしくは町民税 県民税申告している方、または令和4年から農業経営を開始し、農業収入がある方	購入した肥料等費用の合計の1/3 (交付金上限額20万円)	ながいずみ 営農経済センター 055-986-1852
	清水町	肥料、土壌改良剤、農薬	令和4年6月1日～令和5年1月31日	令和4年6月1日～令和5年2月28日	清水町在住で町内で耕作し、販売実績のある農家の方	令和4年6月1日から令和5年1月31日までに購入した農業用肥料・土壌改良材・農薬のうち、自らの耕作に使用するもの(交付金上限額3万円(令和3年度に300万円以上の販売実績のある農家の方は最大20万円))	
富士	富士市	肥料	令和4年7月1日～令和5年2月28日	令和4年7月1日～令和5年3月31日	富士市在住の認定農業者の方	自らが農業用に使用する肥料の購入に要する経費の1/3 (交付金上限額10万円)	富士 営農経済センター 0545-61-8124
富士宮	富士宮市	畜産堆肥	令和4年4月1日～令和5年3月31日	令和5年3月31日まで(2回目の申請受付締切)	エコファーマー、認定農業者等	・バラ堆肥 1トン(約2立方メートル)当たり2,000円以内 ・袋入り堆肥 1袋(約30リットル以上)当たり100円以内 (交付金上限額20万円)	富士宮 営農経済センター 0544-58-7182

※詳しくは各営農経済センターにお問い合わせください。

営農情報

トレンド

最新の農業情報や肥料・資材などの新商品、さまざまな「営農」に関わるトレンドをご紹介します

生産資材高騰対策 国・県支援金の申請状況と各市町の対応

当JAは農業生産資材の価格高騰を受け、JA独自の支援事業を展開すると共に、行政への支援要請を行ってきました。

あわせて、JA独自の支援策として▼値上げ前商品の前倒し販売▼特別価格肥料の提案▼土壌分析・診断による肥料設計の提案と分析診断費用の一部助成▼特別金利融資▼畜産経営診断の提案と補助▼乳製品の販売促進活動などを行っています。

国・県の肥料価格高騰対策事業の申請状況(表1)と現在受け付け中の市町の支援施策の内容(表2)は次の通りです。

下田市、函南町、伊豆の国市、御殿場市、小山町、富士宮市(粗飼料)は、既に申請の受け付けを終了しましたが、支援要請に応え、各種施策が実施されました。

※国・県への申請や農業者専用の当JA特別金利融資「緊急災害対策資金」の詳細は、左記の二次元コードから当JAホームページをご覧ください。



ホームページはこちら

【表1】 国・県の肥料価格高騰対策事業の申請状況について(秋肥)

令和4年12月19日現在

地区	申請者情報(単位:人、千円)		申請金額(単位:千円)		
	申請者数	申請者の肥料購入額計	国への申請額	県への申請額	合計補助申請額
伊豆太陽	105	18,279	2,640	565	3,206
三島函南	98	20,530	2,481	421	2,903
伊豆の国	107	31,265	4,516	967	5,483
あいら伊豆	54	3,166	457	97	555
なんすん	92	15,012	2,039	380	2,420
御殿場	御殿場地区の秋肥の申請については、市町の補助金を利用				
富士	79	19,887	2,595	492	3,087
富士宮	42	5,271	761	163	924
JAふじ伊豆 合計	577	113,411	15,491	3,089	18,580

※千円未満切り捨てにつき不具合があります。